

令和元年度 地域・職域連携推進関係者会議プログラム

日 時 : 令和元年10月4日(金) 10:00~15:30(都道府県協議会、二次医療圏協議会担当者は16:30まで)

会 場 : ビジョンセンター浜松町 東京都港区浜松町2-8-14

テーマ : 改訂版ガイドラインに基づく地域・職域連携推進事業の展開

時 間	議 題	説明者
10:00 ~ 10:05 5分	挨拶	厚生労働省 健康局長
10:05 ~ 10:15 10分	健康づくり施策の動向について	厚生労働省 健康局 健康課長
10:15 ~ 10:25 10分	職域における健康づくりについて	厚生労働省 労働基準局 安全衛生部
10:25 ~ 10:35 10分	保険者による予防・健康づくりについて	厚生労働省 保険局 医療介護連携政策課 医療費適正化対策推進室
10:35 ~ 11:35 60分	【基調講演】 地域・職域連携推進ガイドライン改訂について ～改訂のポイントをおさえ、具体的なアクションにつなげる！～	あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下 一代 氏
11:35 ~ 12:30 55分	昼 休 憩	
12:30 ~ 13:00 30分	【事例報告】宇都宮市における地域・職域連携の推進	齋藤 順子氏 (宇都宮市保健福祉部保健福祉総務課保健福祉相談担当 副主幹)
13:00 ~ 13:15 15分	【事例報告】大分県における地域・職域連携の推進	藤内 修二氏(大分県福祉保健部 参事監兼健康づくり課長)
13:15 ~ 14:40 グループ ディスカッション 35分	【グループディスカッション】 事例報告を踏まえた地域・職域連携方策の検討 地域保健関係者・保険者関係者・労働衛生関係者で都道府県・近隣県毎のグループを編成し、関係者間の顔合わせを行う。事例報告を踏まえ、連携方策について検討する。	コーディネーター 荒木田 美香子氏(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 教授)
各会場へ移動 10分	【分科会】①～③毎の会場に分かれてディスカッション	全体ラウンド 津下 一代氏(あいち健康の森健康科学総合センター センター長) 荒木田 美香子氏(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 教授)
分科会 40分	① 地域保健関係(都道府県、二次医療圏、保健所設置市・特別区) テーマ: 地域保健の視点から地域・職域連携推進のためにできること	コーディネーター 巽 あさみ氏(人間環境大学公衆衛生看護学領域 教授) 藤内 修二氏(大分県福祉保健部 参事監兼健康づくり課長) 焰硝岩 政樹氏(岡山県備北保健所備北保健課 副参事) 齋藤 順子氏(宇都宮市保健福祉部保健福祉総務課保健福祉相談担当 副主幹)
	② 保険者関係 テーマ: 保険者の視点から地域・職域連携推進のためにできること	コーディネーター 古井 祐司氏(東京大学政策ビジョン研究センターデータヘルス研究ユニット 特任教授) 鎌形 喜代美氏(国民健康保険中央会 調査役) 石井 香織氏(全国健康保険協会本部保健部保健第2グループ 保健専門職)
	③ 労働衛生関係 テーマ: 労働衛生の視点から地域・職域連携推進のためにできること	コーディネーター 渡辺 哲氏(神奈川産業保健総合支援センター 所長) 真鍋 憲幸氏(三菱ケミカル株式会社人事部 全社統括産業医)
14:40 ~ 14:55 15分	休 憩・移 動	
14:55 ~ 15:25 30分	【まとめ】 ディスカッションの概要発表	各分科会コーディネーター
	総括	あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下 一代 氏
15:25 ~ 15:30 5分	事後アンケートの記入	
15:40 ~ 16:30 50分	【都道府県協議会、二次医療圏協議会担当者、地域保健関係者向け説明会】 改訂版ガイドラインに基づき、地域保健関係者が地域・職域連携推進協議会において事務局機能を果たし、具体的取組につなげるためのポイントや工夫について説明する。	厚生労働省 健康局 健康課 保健指導室